

木地屋シンポジウム宣言

人口減少が、経済、教育、そして私たちの生活に大きな影響を及ぼし始めています。

人々のあらゆる営みが長い期間をかけて練り上げられ、文化となり、現代に生きる私たちがその恩恵を享受しています。しかし、そうした歴史の長さを物語る象徴といえる文化財は、保存や継承の必要性の認識が薄まりつつあり、危機的な状況にあります。

このような中、本日、木地屋シンポジウム in いといがわを開催いたしました。

大地に根付いた人々の暮らしに光を当て、地域で育まれた歴史文化に誇りを持ち、地域内、さらに地域間において、文化財が多様な形で未来への「架け橋」となることを願って開催したものです。

これからの私たちの生活を考えたときに、先人たちの知恵や努力が結晶化した文化財は、地域総がかりで次世代に確実に継承しなければならないものと考えています。

とりわけ木地屋文化は、日本の食生活を支え続けてきた重要な技術群の一つであり、これを継承することが文化振興の起点となることを確信しています。

このシンポジウムを機に、文化が、教育や地域の振興に繋がることを願って以下のとおり宣言します。

宣 言

- 一、木地屋シンポジウムを起点として、地域の文化が教育や地域振興に繋がるよう、文化の振興に努めます。
- 一、全国各地の木地屋がネットワークで繋がるよう、連携を深めます。

2023年10月29日

新潟県糸魚川市

木地屋シンポジウム実行委員会